

中井 政友 氏 便り

2014. 9

No.011

発行責任

⇒日本共産党

香芝市議員

中井政友

⇒香芝市五位堂

4-359-1

ma36sa83@kcn.jp

9月議会が、はじまります

<「集団的自衛権容認反対の意見書」を提案します >
<国民の声を聞き憲法九条に沿った政治をすべきです>



この決定を閣議だけで決めるのは、憲法のハドメや国会、国民不在の決め方です。

今後、閣議決定撤回や閣議決定を受けた下位立法である国家安全保障法案の成立を阻止して軍国主義復活をくい止めましょう。

(9月議会・予定)

- 9日 初日
- 10日 総務経済委員会
- 11日 福祉教育委員会
- 12日 建設水道委員会
- 16日から18日 決算特別委員会
- 24日、25日 一般質問
- 29日 本会議

『高齢者が安心して暮らせる社会を！』

◇医療を削る、介護保険から要支援者をはずす「医療・介護総合法案」が強行成立されました。国民の命が軽んじられています。

◇医療面では、各県で病床削減計画をださせるもので、香芝では、東朋病院もなくなり、病床が減ったら安心できません。

◇介護保険、要支援のかたがたが介護保険で出来たものが市の予算の範囲での取り組みに変わってしまいます。実態調査に先日は、市内の介護事業所さんを訪問させていただきました。「ご協力感謝いたします」

の改善が求められます。

② 民間委託計画
10月からごみ収集や市役所の窓口業務の民間委託計画で職員数削減が実施されようとしています。

ゴミ収集や市役所窓口業務は、毎日の生活に大変影響する仕事です。民間委託することでプライバシーが守られるのか、市民が気安く相談できるのか等々、懸念される点を質問しました。

回答は、個別の業務請負であり偽装請負にならないようにする、プライバシーは守るようになるとの答えに終わりました。先がけて実施されている自治体では、職員の質の低下が指摘されています。正規職員を計画的に増やすよう提言してゆきます。

●今、議員のあり方が問われています。

議員の仕事は、議会の日だけではありません。市民の声を議会に伝える。準備段階にお宅訪問、宣伝活動、政策作り等してきます。また、日本共産党は政党助成金、企業団体献金を受け取らず市民本位の立場を貫いています。

(議会その後)

① 学童保育所

6月議会で五位堂、二上に加え西真美で待機児童がおられ、保護者、子ども達の不安が強く、特に長期休暇中希望者には、入所可能にするよう訴え、各々学童地域では休業中の教室を利用して、運営されています。

来年は、制度も変わり6年生まで入所でき施設や指導員さんの人員配置等

